

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

東京グリーン

CHARTERED 1973

< 2022.11 >

BULLETIN

2022年7月～2023年6月



国際会長 K・C サミュエル「フェロシシップとインパクトで次の100年へ」(インド)
アジア太平洋地域会長 シェン・チ・ミン「新しい時代と共にエレガントに変化を」(台湾)
東日本区理事 佐藤重良「未来に向けて今すぐ行動しよう」(甲府 21)
関東東部部長 工藤大丈「新規技術(テクノロジー)を縦横に駆使し、効率を重んじる。
すべては、プレミアムな価値と体験を産むために」(東京ベイサイド)
クラブ会長 樋口順英「安全・愉快・安心」(東京グリーン)

会 長 樋口 順英
副 会 長 青木 方枝
書 記 布上 征一郎
会 計 柿沼 敬喜
監 事 柿沼 敬喜
監 査 西澤 紘一
担当主事 木村 卓司

11月 収穫感謝

「空の鳥を見なさい。種まきもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。けれども、あなたがたの天の父がこれを養ってくださるのです。あなたがたは、鳥よりもっとすぐれたものではありませんか」(マタイによる福音書 6章 26節)

:この世界は、全て神の意志で動いている。自然の恵みを感謝して頂こう。

2022年11月例会

Zoom オンライン例会

日時:2022年11月16日(水) 17:00~18:30

Zoom ホスト、進行:樋口 会長

開会点鐘	樋口 会長
ワイズソング・ワイズの信条	全 員
聖句・お祈り	西澤 君
ゲスト・ビジター紹介	樋口 会長
・神田川船の会反省会	目黒 君
・12/11(日)クリスマスオープンハウス	青木 君
・12/21(水)クリスマス例会	樋口 会長
・その他	

Happy Birthday : 今月はいらっしやいません。

YMCA 情報 木村 君

閉会点鐘 樋口 会長

【例会出席率】 在籍:15名 10月出席率7/12 58%

出席:10月リアル例会(東京 YMCA 東陽町センター)
(メン7名、メネット0名) 計 7名

【ニコニコ】 8,000円

★今期より会計担当は柿沼メンになります。★

クラブ年会費などの振込み口座は下記をお願いいたします。

京葉銀行 こてはし台支店(普通)3856346

カキヌマ ケイキ名義

11月の強調月間テーマはBFです

Building Fellowship

ワイズメンズクラブ国際協会でも古くから行われている国際プログラムのひとつであり、使用済み切手の換金あるいは現金の拠出によって国際協会に集められた献金を、クラブ間の交流を深め、ワイズ運動のリーダー養成のために用いる制度。2022年5月の国際議会においてこれまでの Brotherhood Fund から名称変更された。

巻頭言～パラリンピックの今後 佐野 守

～価値観 勇気 決断力 平等 鼓舞～

一人ひとりがこれまで以上に、障害のある人や外国人など様々な立場の人への理解を深め、多様性と調和を実現することが求められます。

私はスポーツが平和の推進に寄与し、万人に対し人間の尊厳と平等を守るものであると信じています。

さて、2020年の東京パラリンピック以降、障害者スポーツに対して最近の世の中に関心が高まっています。

私は東京 YMCA に1989年入会し、1991年日本 YMCA 同盟認定体育リーダーの資格を取り、その後日本パラリンピック協会認定上級指導員の資格を持って色々活動に参加しています。これからも障害者スポーツに努力していきます。



◆2022年10月 第一例会 報告

10月第一例会は10月19日(水)18:00~20:00東陽町コミュニティセンターにて行いました。

出席は、青木、柿沼、西澤、根本、木村、目黒、樋口、各メン、ゲストに東京 YMCA 国際ホテル専門学校校長小畑 貴裕様、およびビジターとして、次期関東東部部長長尾（千葉 W）メン、東京西クラブ副会長吉田メンの合計10名でした。



当日のゲストスピーカーに、国際ホテル専門学校校長小畑 貴裕様(写真上)をお招きし、「外国人留学生にスキルをつけるしごとの大切さについて」と題し、お話をお伺いしました。

たいへんアグレッシブで且つ整然と引き締まった卓話
は、いい勉強になり、感動しました。

要旨を下記します。

- 1) 日本への留学生は、コロナ禍により激減している。
('20:28万人→'21:24万人)国別人数は中国、ベトナム、ネパール順である。
- 2) 東京YMCA国際ホテル専門学校は、1935年創立。以来12,000人を超える卒業生を業界へ輩出している。('22専門学校ランキング、ホテルスタッフ部門で第一位である。)
- 3) 本物の環境でプロのホテルマンに学ぶ授業など実践的で、しつけの厳しい指導も特長である。
- 4) 留学生の割合は5~10人程度であり、国別では中国、韓国、台湾、ベトナム、タイ、ネパールの順で、日本語学校卒業後の入学の方が多い。
- 5) 留学生の就職状況は、ほぼ全員一流ホテルに就職している。外資系ホテルへの人気が高いが、最近では日本の良さを学ぶため地方旅館も人気が増えてきている。
- 6) ラオスでのホテル専門学校設立のためのプロジェクトが検討されている。歴史的な大仕事に携わることになれば光栄だと思う。両国の発展に貢献したいものである。

その他、以下の件につき、報告がありました。

- ① 50周年記念例会を2023年3月21日(祝)にKKRホテルにて開催することとした。
- ② 10月17日(月)恒例の千代田区立昌平小学校の課外船上学習を実施した。
- ③ 11月5日(土)神田川船の会を催行、今回は延期のための予備日を11月20日(日)に設定した。
応募状況は現状では85名、午後便の人気が高い。
- ④ 11月26日(土)立教大学YMCA専用乗船会を行う予定である。立教大学発祥の地、中央区明石町などをめぐるオーダーメイドコースにて対応する。

(樋口 記)



(写真左 Happy Birthday!
10月生まれ、小畑校長および柿沼メンにプレゼント贈呈)

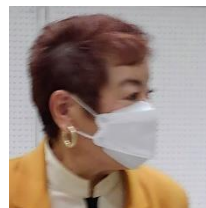
***** <10/19ご出席のみなさま> *****



青木メン

柿沼メン

木村メン



西澤メン

根本メン

目黒メン



長尾メン(千葉W)

吉田メン(東京西)

樋口メン



◆2022年11月 第二例会 報告

2022年11月9日(水)15:00~16:30 Zoom 開催

出席者:目黒、佐野、西澤、柿沼、木村、樋口

1) 11/16(水)11月第一例会は、Zoomで行なう。

時間は17:00~18:30。

◆メインテーマ:神田川船の会反省会

- 2) 11/5(土)神田川船の会実施:アンケート集計中
- 3) 10/22~30チャリティーラン報告:15位/46チーム
- 4) 12/11(日)オープンハウス:「フランク焼き」を担当する。参加予定者:青木、佐野、柿沼、木村、樋口
- 5) 東西日本区交流会アンケート審議(締切:11/30)
- 6) メネット会アンケート審議(締切:11/15)
- 7) **クリスマス例会:12/21(水)15:00~東陽町センター**
詳細は11/16打合せする。(樋口 記)

◆ことしも昌平小学校の課外船上学習実施

【神田川・昌平橋を前に、心やさしく説明する目黒メン】



10月17日(月)に、CS事業として恒例になった地元の千代田区立昌平小学校4年生対象の船上学習は、今年から「近年は異常気象が発生しているため念のため予備日」を設けましたが、当日は小雨がぱらつく曇り日の中、船宿からも出航可能との返事があり実施することが出来ました。

幸いにも、当日の川面の気温は思ったより高く、午前便、午後便の2クラスに分かれての船上学習は全員が無事に帰航することができ、お陰で予備日は不要となりました。

なお、このCS事業がクラブとして38年間も長期間にわたり活動が続けられた理由としては、先ずは児童にとっては「毎日見慣れている風景と違った船上から眺める非日常的体験ができる」こと、また、学校にとっては「区の補助金の多寡にも関わらず、クラブが奉仕事業として冊子の配布や事前授業までも行っていることに感謝の念をもって貴重な授業時間を削いでまで日程調整につとめている」こと、一方、当クラブにとっては「CS事業への補填額を全員が年会費に組み入れられていることを理解している」ことです。即ち、生徒、学校、クラブが三位一体となって非日常的体験・感謝・奉仕を推進・実践できていることが、CS事業を長期間にわたり継続しているキーワードだと思っております。

(クラブからの参加者:目黒、樋口、柿沼各メン)

(柿沼 記)

◆第86回「神田川船の会」実施

1979年発足以来86回目を迎える「神田川船の会」を、11月5日(土)晴天の中、90名のお客様をお迎えし、午前、午後とも2隻の遊覧船で実施しました。



日ごろゆっくり見ていなかった東京の街の様子を船から眺め、思いがけない発見をしたり、扇橋閘門(小名木川)での「水のエレベータ」体験など、秋の休日を楽しんでいたかと思います。

当日は潮位が高く、低い橋を通過できるか心配でしたが、船宿・三浦屋の腕利き船長さんのおかげで、当初どりのコースをとることができました。

お客様から頂戴したアンケートは、今後の改善の材料にします。又、テント設営、受付等バックオフィスでご尽力いただいた東京YMCAの皆様には感謝致します。(樋口 記)

◆DBC京都パレスクラブとの交流会

11月5日(土)DBC 京都パレスクラブメンバー14名の方々に「神田川船の会」午後便に乗船いただきました。その後、浅草・神谷バーにて交流を深めました。(樋口 記)

【浅草橋・船宿「三浦屋」にて】

【浅草・神谷バーにて】



◆設立50周年記念例会準備委員会お知らせ

(準備委員:樋口、青木、布上、目黒、柿沼各メン)

1) アトラクション演奏曲(5曲:40分)の提案がありました。

今回アトラクションをお願いしているピアノトリオのリーダーから演奏プログラムの提案があり、その中には「ワイズソング」の原曲を基にしたトリオ編曲版の演奏も含まれておりますので、大変楽しみにしております。

2) 会場での詳細準備の打ち合わせ

11月中旬に会場となるKKRホテルにて、演奏者にも同行を依頼して準備のための詳細な打ち合わせを行う予定にしています。なお、式次第に組み入れたいプログラムがありましたら準備委員までご提案をお願い致します。

(柿沼 記)

VIVA CLASSICAL

ジプシーの哀愁

ブラームス「ハンガリー舞曲第5番」



編曲:ヨハネス・ブラームス(1833~1897)

ハンガリー舞曲第5番(1869)

指揮:ユージン・オーマンディ(1899-1985)

フィラデルフィア管弦楽団(1972年録音)

ハンガリーにちなむ名曲は多々ありますが、流浪の民ロマ(ジプシー)のメロディーやリズムは、どこか哀愁が漂います。また何となく東洋的でもあり日本の民謡、歌謡曲、盆踊り、などにも通ずるものもあり、親近感を持ちます。

今回は、ブラームスのハンガリー舞曲をとりあげました。実は彼本人の作曲ではなく、ハンガリー民謡の「編曲」なのです。このため作品番号が付けられておりません。

ハンブルグの貧しい家庭で育ったブラームスは13歳のころから酒場でピアノを弾いて生計の足しにしていました。しかし20歳のときチャンスが訪れます。ハンガリーの名バイオリニスト、エドゥアルト・レマーニ(1830-1898)の伴奏者としてドイツを演奏旅行する機会を得たのです。その折に多くのチャールダーシュというロマ音楽を教わりました。

ブラームスはそれらをピアノ連弾用に編曲して全21曲発表したところ大ヒットしました。これを嫉んだレマーニは著作権侵害で訴えますが敗訴します。

のちに管弦楽用に編曲されましたが、最もポピュラーなのが第5番です。1889年蓄音器により初めて録音された曲の一つです。また映画「独裁者」(1940)では理髪師扮するチャップリンが曲に合わせてお客の髭をそります。

余談ですが、レマーニはのちに世界一周演奏旅行を行い、1886年来日し、鹿鳴館で明治天皇の御前で演奏会を開いています。

推薦 CD は、ブダペスト出身のオーマンディ指揮です。ゆったり濃厚なテンポと、フィラデルフィア・サウンドとして親しまれた豊麗な音色を楽しんでください。(樋口 記)

YMCA コーナー

1. 1922年10月にはじまった「**早天祈祷会**」が100年を迎えたのを記念し、10/3に「早天祈祷会/100年記念交流会」を開催して39人が参加しました。

堀口廣司氏(学校法人東京YMCA学院長)による奨励に続き、齊藤實氏(元東京YMCA副総主事・YMCA史学会理事長)より歴史資料や写真を交えながらお話をうかがい、100年の歴史を振り返る時間を持ちました。

2. 「**第36回国際ナショナル・チャリティーラン**」は、今年も歩数計アプリを利用したウォーキングイベントとして開催しました。10/22~30の「チームレース」には46チーム706人が参加しました。TEAM 東陽町のチームレース結果は平均歩数14,449歩で15位でした。

3. 「**ウクライナ支援募金**」は第1期(開始~4月)、第2期(5~8月)合わせて11,238,924円が寄せられました。

東京YMCAはウクライナYMCAに2回にわたり合計\$30,000を送金し、現地で行う子どもたちをケアする活動などを支援しています。12/14には、「ウクライナ支援報告会」をオンライン開催する予定です。

4. 「**江戸城ファミリーウォーク**」動乱の幕末を歩く(11/23) 江戸城の内外を、歴史に思いを馳せながら歩くイベントです。毎年江戸城にちなんだ講演を聴いた後、ウォーキングを楽しんでおり、今年で36年目になります。

今回は小島康良先生より、「動乱の幕末を歩く」と題してお話しを伺います。

【日 時】2022年11月23日(水・祝) 10:30~15:00

【お申込】E-mail: edojo@tokyoymca.org

電話(03)3615-5632 詳しくは東京YMCAのHPまで

5. 【**クリスマスバザーへの献品のお願い**】

12/11(日)東陽町センターでクリスマスオープンハウスの開催を予定しています。益金は『国際協力募金』『地域プログラム活動資金』『経済的困難な子どもたちへの支援』『青少年リーダー養成』などに活用させていただきます。是非献品をお寄せください。《新品のみ受け付けます》

・献品受付期間: 11/1(火)~12/7(水)

・献品箱設置場所: 東陽町センター1階ロビー

6. **今後の主な行事日程**

① 「ソシアス2022」11/20 オンライン

講演: 川平朝清氏(元NHKアナウンサー・昭和女子大学名誉教授)「沖繩復帰50年と平和について」

② 「第22回日本YMCA大会」11/25~27 東山荘

(主事 木村 記)